

高等学校 芸術（美術）

高・芸術（美術）1

1 現行高等学校学習指導要領「美術Ⅰ」の内容について、次の（1）～（3）に答えよ。

- （1） 「美術Ⅰ」の「1 性格」で述べられている美術の科目性を3つ記せ。
- （2） 「美術Ⅰ」の「2 目標」には「美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。」とあるが、美術の幅広い創造活動とはどのようにすることを目指しているか記せ。
- （3） 「美術Ⅰ」における「3 内容」A表現（3）映像メディア表現で指導する事項を4つ記せ。

2 次の（1）～（5）は、何について説明したものか、適する技法名を記せ。

- （1） 卵や^{にかわ}膠 蜂蜜などを溶剤にしてつくられた絵の具で描く。その後からワニスを塗って画面を保護する。
- （2） 銅板や亜鉛板の表面に蠟やアスファルトなどの防食剤で膜をつくり、これにニードルなどで絵を描き、版面の金属を露出させる。これを硝酸液に浸し、絵を描いた部分を腐食させる。防食剤を溶かし去り凹板とし、プレス機で印刷する。
- （3） 単一の色のいくつかの諧調で描く手法のうち、特に灰・黒などの灰色調の色彩を用いて描くこと、または描かれた絵のこと。
- （4） 糸や紙あるいは葉、網など様々な素材を貼り付けて版をつくり、プレス機で印刷する。
- （5） 木や石などのように、既に塊としてある材料を削り取ることによって、形をつくりだしていく。

3 次の（１）～（５）に答えよ。

奈良時代には、宮廷・貴族や寺院の豊かな生活と仏教の発展とに支えられ、多くの美術作品が作られた。

建築では、寺院や宮殿に礎石・瓦を用いた壮大な建物が建てられた。もと貴族の邸宅であった（ア）の伝法堂、もと平城宮の宮殿建築であった（イ）の講堂のほか、東大寺の法華堂や<写真P>などが代表的なもので、いずれも均整がとれて堂々としている。

彫刻では、表情豊かで調和のとれた仏像が多く、以前から金銅像や木像のほかに、木を芯として粘土を塗り固めた（ウ）や、原型の上に麻布を幾重にも漆で塗り固め、後で原型をぬきとる技法の（エ）が発達した。

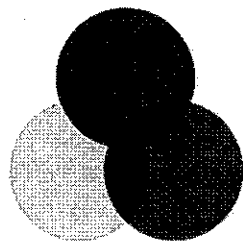
正倉院 宝物殿の写真

<写真P>

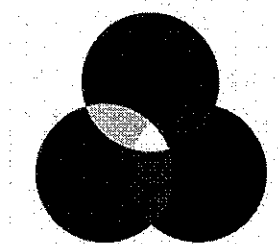
- （１） ア～エにあてはまる言葉を記せ。
- （２） ウの技法を生かした、東大寺法華堂にある仏像の名称を一つ記せ。
- （３） エの技法を生かした、興福寺にある八部衆立像のうち、仏像の名称を一つ記せ。
- （４） <写真P>の建築物の名称を記せ。
- （５） この文章で述べられている文化は何か、その名称を記せ。

4 次の（１）～（３）の問いに答えよ。

ア



イ



- （１） 光の三原色の混色を表しているのはア，イのどちらか記せ。
- （２） 減法混色を表しているのはア，イのどちらか記せ。
- （３） アの三原色のように、彩度の最も高い色を何と呼ぶか記せ。

5 街の中の標識のデザインについて、次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) ①～⑬の標識のデザインについて、次のア～ウの文で正しいものに○、誤っているものに×を記せ。

- ア. ⑤で使われている色の数は、5色である。
- イ. ⑥は、傾斜を表すため、三角形を用いている。
- ウ. ⑫には、明朝体が使われている。

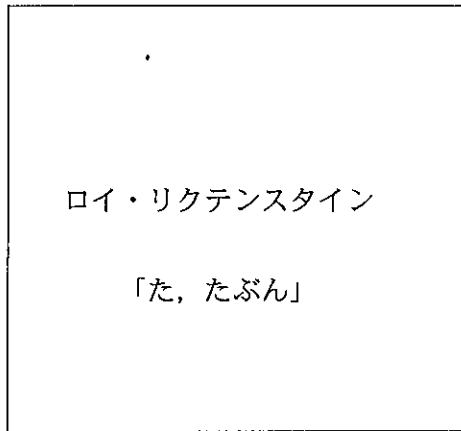
(2) 図案が、垂直の中心軸を規準としてシンメトリーになっているものをすべてあげよ。

(3) ⑦と⑧で、明度が近い配色をしているのはどちらか、記せ。

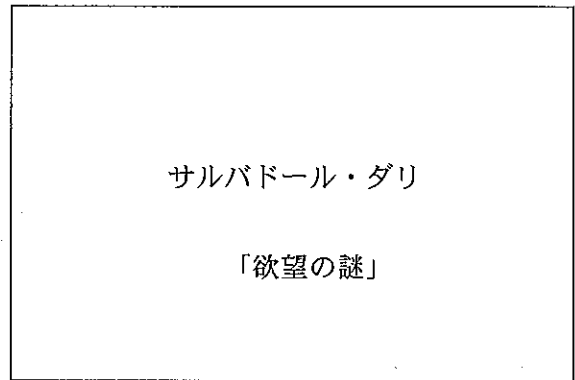


6 次の(1)～(4)に答えよ。

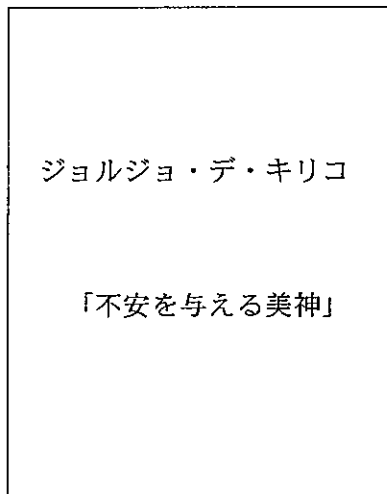
作品A



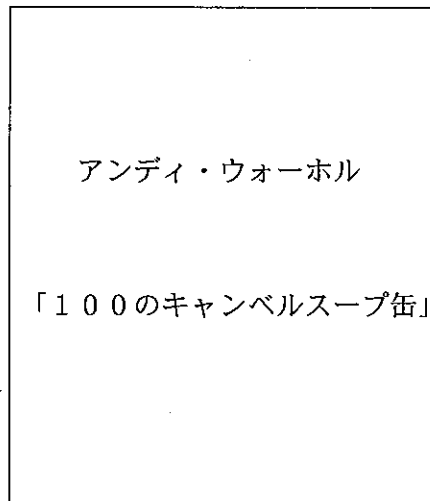
作品B



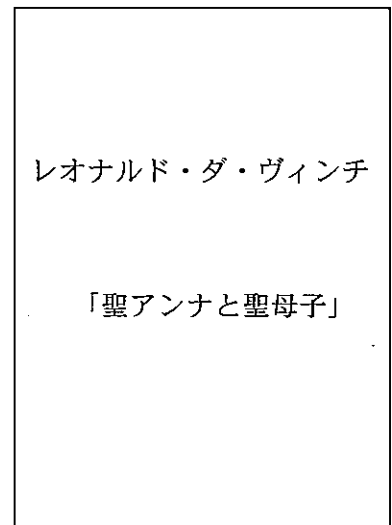
作品C



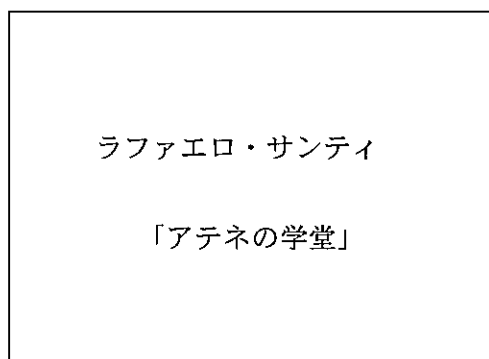
作品D



作品E



作品F



- (1) 作品A～Eの作者名を記せ。
- (2) 作品Aと作品Dに共通する芸術運動の名称を何というか。
- (3) 作品Bと作品Cに共通する芸術運動の名称を何というか。
- (4) 作品Eと作品Fについて、用いられている遠近法の名称をそれぞれ記せ。

7 右の図について、次の(1)、(2)に答えよ。

- (1) このマークは何と呼ばれているか、名称を記せ。
- (2) このマークの作図の方法について、生徒が興味をもつような、図やことばを用いた授業プリントを作成せよ。

グッドデザインマークの図